

新宮山彦ぐるーぶ第1981回  
大日岳・大日如来座像台座下石組み修復に向けて  
セメント等資材荷揚げ

◇実施日：2018年07月10日(火) 小雨のち晴れ  
◇参加者：梶野照雄。 1名。

7月1日にセメントなどの資材を荷揚げしたが、天候が回復せず、大日岳まで行かずに深仙宿にデポして帰った。  
工事を始めるまでにセメントの一部の荷揚げ、深仙宿小屋の備品点検を目的に大日岳へ向かった。



太尾登山口



砂袋が減っている



千丈平の砂置場

梅雨明け宣言が出た後なので晴れると思っていたが、山の天気は思い通りにはならなかった。登山口では降っていなかったが、尾根に出ると雲の中で、霧雨のような細かい雨が降ったりやんだり。スマホで気象レーダーを見ると雨雲は無いので、雨具は出さずに歩き続けた。

千丈平に到着、砂置場の砂袋を確認すると16袋になっていた。



16袋に増えていた



かくし水場で



灌頂堂内のデポ資材

1日には5袋だったので、11袋増えていた。天候が悪い日が多かったのにお運びいただいた方に感謝したいと思う。

かくし水まで登ってポリタンを一杯にする。かくし水は水道の蛇口を全開にしたようによく流れていた。

11時に深仙宿到着、水をお堂に置いてセメント一箱と練り箱を背負子に括る。計ってみると18kgだった。

行動食とお茶だけを持って大日岳に向かう。荷物が重くなつたので、足を滑らさないようにゆっくりと歩いた。約40分かかってどうにか大日岳に到着。セメントを降ろして濡れないように練り箱を蓋にして置いた。雨水貯槽を点検、大雨の後なのでどれも一杯溜っていた。児嶋製作所の二段槽はパイプの位置がずれて下槽の水量が少なかった。パイプの位置を調整した。

砂の手前には、先日(〇〇)の雨の中、村吉さんが荷揚げしてくださったバラスが、MTBの二人が持ってきて下さった小袋も二つ確認できた。

荷物を全部おろし身軽になって深仙宿に戻る。13時過ぎに小屋に着いて昼食。昨年持ってきたカセットコンロを試す。ボンベにガスはまだ少し残っていて一発で点火した。点火確認後、香精水に水汲みに行く。香精水はよく流れており、五〇〇ccのペット

パイプがズレていたので位置調整



村吉さん荷揚げバラス



大日岳でセメントを降ろし練り箱をかぶせる



雨水貯槽は満水



お堂南側の砂袋



大日如来坐像は健在



朝は無かったカウンター



カセットコンロは順調



北西から雷鳴が



ボンベ新品一本補充



ボトルを満水にするのに四〇秒弱だった。小屋に戻り、お湯を沸かしてカップ麺で昼食。カセットボンベは新品を一個補充した。食後、小屋内の可燃物を外で焼却、少し残っていた水でLEDランプのカバーを拭き取った。カバー内側も掃除すればもっと明るくなると思う。

ペットボトルに香精水で満タンにして灌頂堂お堂に置いて深仙宿を離れた。お堂南側に瀧本さんが荷揚げ(7/02)したと思われる砂袋が四個あった。

前にも後ろにも人はいないので、シカがいれば立ち止まり、伸びてきたトリカブトの花芽を探したり、腰を下ろして一服したりと勝手気ままに下山を続ける。

14時を過ぎてやっと太陽が顔を出したが、16時過ぎから雷鳴が聞こえだした。北の方のかなり離れたところに黒い雲がある。登山口の階段を上った所に、朝には無かった登山者数把握のカウンターが設置されていた。あちこちで見かける環境省の物と同型なので、環境省のパークレンジャーが設置したものと思うが、このデータはどこかに公開されているのだろうか？

17時10分太尾登山口に到着。  
着替えて走り出すと同時に小雨が降り出した。R168の新天辻トンネルの南側で二〇m先が見えないほどの豪雨になったが、トンネルの北側は全く降っていないかった。

### 行動タイム

太尾登山口07:45→古田の森09:26→10:02千丈平10:17→11:00  
深仙宿11:35→12:13大日岳12:41→13:09深仙宿14:30→15:22  
千丈平→17:12太尾登山口。  
(記：梶野)